

あれも秘密！これも秘密！知らないうちに「戦争ができる国」へ



国民の目・耳・口をふさぐ 「秘密保護法」を廃案に！

12月6日までの臨時国会で、政府は「特定秘密保護法」を成立させようと狙っています。

この法律は、マスコミや公務員だけに関係する内容ではありません。国民が今まで当然と思っていた、国民主権、基本的人権、平和主義が脅かされる悪法です。政府与党の圧倒的な数の力で押し通されてしまったら大変だと、マスコミ、学者、弁護士、公務員、作家、消費者団体、市民グループなど多くの人々が「反対」の声をあげています。私たちの日常が制約され、監視され、自由な表現や主張が罰せられる可能性があるのです。

1

なにが秘密・・・？
それはヒミツ・・・!!



『特定秘密』として①防衛 ②外交 ③特定有害行為の防止 ④テロリズムの防止を掲げています。が、「秘密の範囲」はあいまい。法案には36か所も「その他」と書かれ、「安全保障に関わる」といえば、何でも秘密扱い。

2

行政の「長」が勝手に秘密指定

「秘密」指定をする人たちは、首相や外相、防衛相、警察庁長官などの行政の「長」。彼らの思惑一つで、勝手な判断で秘密の範囲は限りなく広げられる。国民も、国民の代表である多くの国会議員の情報も統制され、情報を握るのは一部の「長」と「官僚」だけ！ 国民主権は絵に描いた餅に！

たとえ一部修正されても、悪法の本質は変わらず、廃案しかない！

3

秘密に触れたら重罰に



公務員はもちろん、民間業者が情報を漏らした場合、最高懲役10年以下で処罰されます。広範な国民に「秘密保護義務」が課せられ、何が「特定秘密」かわからないまま処罰される危険性も。「知る権利」「報道の自由」は萎縮し戦前のような息苦しい社会へ。

4

戦争への道は「秘密」から始まる

なぜ、突然にこのような法律が出てきたのか。理由は、同盟国アメリカと海外で戦争が出来る国にするためには、軍事的な情報を今以上に秘密にしたいから。「集団的自衛権」を行使したいからです。戦争につながる危険な法案は「NO！」

反対をアピールしよう！ 声を上げよう！ みんなで参加しよう！

秘密保護法の成立に反対する県民大集会

とき：11月30日(土)13:30～15:20 ところ：岩手県公会堂大ホール
(集会後アピール行進)

主催：反対の一点で賛同する団体による実行委員会（現在あらゆる団体に声がけ中）

